

第6回街道学習講座

なるほど！歩いて楽しい大山街道  
同行記⑥（梶が谷駅～鷺沼駅）

春3回・秋3回、計6回の大山街道歩きも今年度分は最後となります。

11月22日(木)は、快晴の前回と打って変わり、曇り空で時々雨も交じりました。参加者は22名。梶が谷駅に集まりましたが、不安定な天気なので参加者全員がそろったところですぐに出発しました。

高津区から宮前区に入る訳ですが、この辺りは坂が多く体力がいる地域となってきます。赤坂御門から出発したこの街道学習講座ですが一番の難所が今回かもしれません。

特に田園都市線と共に開発が進んだ宮前平地域は荒野を大規模に宅地開発したので、青葉区に次いで大山街道の跡が残されていない地域と講師の中平龍二郎氏もおっしゃっていました。

梶が谷駅から、今は全く痕跡のない立場（たてば＝街道の休息所）を通り、末長の庚申塔に行き、中平氏の説明を聞きました。この庚申塔は道標の役割も果たしていました。

宮崎中学校のそばに宮崎大塚と呼ばれる古墳があり、参加者は上まで登りその古墳の様子を実見しました。宮崎中学校には、戦時中駐屯していた陸軍東部62部隊の部隊本部が、そして川崎市青少年の家には将校集会場が置かれていました。

宮崎台に入り、今はマンションの敷地になっている一里塚の説明を受け、土橋の八幡坂を通り、宮前平の八幡神社に出ました。神社の急な階段を上っても、周りのビルと木々で遠方は望めませんでした。その後、小台坂をのぼって鷺沼駅に向かいました。

今回は、来年度＜鷺沼駅＞からスタートします。日程は最初のページをご覧ください。



▲宮崎大塚古墳



▲宮前平八幡神社

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel : 044-813-4705 Fax : 044-712-0034 http://furusatokan.web5.jp/

平成31年度 前期実施予定事業(4月～9月)

☆期日・内容・時刻等を変更する場合があります。事前に館だよりやチラシ・ホームページ等でご確認くださいようお願いいたします。

事業名	実施時期	内容
<b>1. 博物館事業</b>		
常設展	通年(企画展の時期を除く)	「ふるさとの歴史・民俗・生活」をテーマに、郷土に関わりのある資料やゆかりの芸術家の作品などを展示
第1回企画展	6月14日(金)～17日(月)	高津区老人クラブ連合会(ふれあいクラブ高津)による「趣味の作品展」(最終日は12時まで)
第2回企画展	6月22日(土)～8月29日(木)	「上田文書から見たふるさと高津のむかし(仮称)」 ※高津区民祭参加行事
企画展記念講演会	7月21日(日)	「上田文書から見たふるさと高津のむかし(仮称)」 講師：望月一樹氏(神奈川県立歴史博物館学芸部長)
<b>*ミニ企画展</b>		
切り絵展 ⑩	3月1日(金)～4月30日(火)	「草花に魅せられて」趣味の切り絵作家、青木幸夫氏
大山街道の宿場めぐり ①	5月1日(水)～6月30日(日)	赤坂御門
ミニ市民ギャラリー①	7月1日(月)～8月31日(土)	市民の作品等の展示
切り絵展 ⑪	9月1日(日)～10月31日(木)	趣味の切り絵作家、青木幸夫氏
<b>2. 歴史文化探究事業</b>		
街道学習講座(春季)～なるほど！歩いて楽しい大山街道～	4月23日(火) 5月7日(火) 5月21日(火) 各回とも 12:45～16:00	第1回・鷺沼駅から江田駅まで歩く 第2回・江田駅から青葉台駅まで歩く 第3回・青葉台駅からすずかけ台駅まで歩く 講師：対馬醇一氏(郷土史研究者)
第1回ふるさとまち歩き講座	5月11日(土) 12:30～16:00	「貝塚と古墳、古代のロマン～子母口・千年を歩く～」 講師：佐藤 忠氏(高津シルバーガイドの会会長)
春のふるさと館まつり	5月19日(日) 10:00～14:30	さんの市(野菜販売)、ふるさと館スタンプラリー、昔遊び、アニメ上映、落語 など
第1回ふるさと探究講座	9月14日(土) 10:00～12:00	「溝口・上田家の醤油製造(仮称)」 講師：鈴木 穆氏(高津区文化協会会長)
子ども大山街道探検クラブ	4月24日(水)から年間12回	近隣の小学3年生以上を対象に、大山街道沿いの史跡の見学や奉仕活動および昔遊びなどの体験的な活動を通して、子どもたちの郷土への愛着心を育むクラブ活動を行います。

大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044(813)4705 FAX：044(712)0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。団体登録・個人登録ともに申し込みができます。



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分  
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

## ふるさとまち歩き講座 ～末長を歩く～ 報告



▲熊野緑地への道



▲杉山神社



▲百年名家 澁谷邸

1月25日(金)、今年度第3回のふるさとまち歩き講座を末長方面で開催しました。梶が谷駅に集合して末長交番前解散まで3時間強の楽しいまち歩きでした。アップダウンがあり体力が必要な歩きでしたが皆さん元気に歩いていたのが印象に残りました。

B S朝日の「百年名家」でも紹介された澁谷邸では大黒柱や梁に日本家屋の粋を感じ、江戸見桜・ターザンの木など末長を代表する樹木の説明にまちの移り変わりを感じるなど、有意義な時間を過ごすことが出来ました。熊野の森を歩いて杉山神社に到着後、神主さんのお祓いを受け、杉山神社の歴史についてのお話もいただくことが出来ました。隣の明鏡寺の三重塔は一見の価値があります。

来年度の第1回も講師に佐藤忠氏(高津シルバーガイドの会会長)をお迎えして、5月11日(土)に行う予定です。募集は4月15日(月)午前9時30分から、電話・FAX・窓口で受け付けます。

## ＜第3回歴史探究講座＞報告

今年度は日本遺産に認定された「大山詣り」をテーマに、川島敏郎氏に3回連続で講演をお願いしました。今回はまとめの3回目として、大山信仰シリーズⅢ「大山道・大山を往く」と題して講座(48名参加)を開催しました。

はじめに「私と大山道との関わり」を話され、大山信仰がライフワークになっていく過程がよく分かりました。次に大山道の概観として神奈川県下の大山への主な参詣道を地図で確認して行きました。「すべての道は大山に至る」各地からの大山道を詳しく見て行きました。東(江戸)から、西(小田原・御殿場)から、甲州街道(八王子)から、海上からと25以上の大山街道を紹介されました。大山参詣が無事に終わると江ノ島、鎌倉を廻って帰りました。江戸時代庶民の物見遊山は神仏に詣でることが必須でした。遊びの後ろめたさも解消できたようです。アンケートには「大変面白く、楽しく聴きました。ありがとうございます。大山詣りをしてみたい」とありました。



## ＜子ども大山街道探検クラブ＞活動報告



1月は、たかつ大山街道「1000匹の『あゆ』プロジェクト」のみなさんにご指導いただき、「あゆの絵付け」を行いました。インフルエンザが猛威をふるっている時期でしたが、子ども達は元気いっぱい夢中になってあゆに色付けをしていました。筆の使い方、色の付け方・重ね方など難しい作業に



悪戦苦闘でしたが、自分の作品に満足した表情でした。2月に発表会に向けて準備を行い、3月には発表会を行いました。夏休み中に作成した自由研究作品や、探検クラブの活動を通して楽しかったことなどの発表を行い、講師の先生からおほめの言葉や励ましの助言をいただきました。

来年度の活動は4月24日(水)から始まります。

## ＜第2回・第3回大山街道まちのマイスター体験講座＞ (2月6日:日本酒の話、3月2日:珈琲のみくらべ)

大山街道や高津のまちにお住まいの「マイスター」の皆さんからプロの知恵と技を学ぶのが「まちのマイスター体験講座」です。

### 【日本酒の話あれこれ】

2月6日は大山街道沿いにある増屋商店店主・秋元英樹氏を講師に迎え『日本酒の話あれこれ』を実施しました。日本酒の製造工程や特定名称酒の分類の仕方についてレクチャーがあり、その後、実際に試飲しました。

京都と秋田の蔵元からそれぞれ3種類のお酒を取り寄せていただき、講師の説明を聞きながらじっくりと味わいました。講座が進むに連れ参加者同士での会話も弾んでいました。



### 【世界の珈琲のみくらべ】

3月2日は高津にある珈琲丸店主・丸山康太氏による『世界の珈琲のみくらべ』～アフリカ編～でした。エチオピア、タンザニア、ウガンダ産の豆を、それぞれ浅煎り・中煎り・深煎りの3種類の焙煎で味わいました。

会場で挽いた豆に丸山氏がお湯を注ぐとコーヒーの粉がむくむくと泡立ち、コーヒーのアロマが会場いっぱいに広がります。同じ豆でも味や香り、コクが随分と違い、参加の皆様はご自分のお気に入りについてお互いに話しながらコーヒータイムに浸っていらっしゃいました。



## ＜冬のふるさと館まつり＞大いに賑わう！

冬のふるさと館まつりは、大山街道フェスタの参加事業として、2月23日(土)から3月1日(金)にわたって、今年も様々なジャンルで開催することができました。「カルチャー展」は、見学にこられた方々が展示されている作品を見て、そのすばらしさに感激していました。「アーカイブ展」「歴史探究講座」にもたくさんの皆様においでいただき盛況のうちに幕を閉じました。

### ＜地域が創出するカルチャー展＞

テーマは「趣味が創り出す美と感動の世界」でした。作品を出典されたのは、ふるさと館で活動している7団体の方々に、出品数は130点にもなりました。絵画、短歌、俳句、パステル画、絵たより、書、フラワーアレンジメントと、どの作品も見ごたえのある作品ばかりでした。見学者からは、「すばらしいね。」「よくできているね。」などの感嘆の声も聞かれ、足を止めてしばし作品を見入る姿も印象的でした。

### ＜高津のまちアーカイブ展＞

テーマは「ふるさと高津の魅力再発見」で、二子・溝口を中心に移り変わるまちの様子を写真パネルで紹介しました。1階～2階のスロープに展示された多くの写真パネルには、たくさんの人が足を止め、昔懐かしい溝口の駅前風景など食い入るように見ていました。

